

西江通信

夏号 - Vol.16 -

現場だより	1-2
十勝川治水 100 年トークリー	3
Eco Action!	4
社員親睦イベント／就活情報	5
受賞 Report! / PLUS NEWS!	6



4月22日(土)に開催した十勝川河川清掃での集合写真。延べ88名で680kgのゴミを拾い集めた(撮影:総務課 石澤)



発行日: 令和5年6月30日(金) 発行 夏号【通巻16号】 / 発行元: 西江建設株式会社(帯広市西4条北2丁目20番地) / 編集者: 総務部総務課
連絡先: (TEL) 0155-25-9105 (FAX) 0155-23-9176 (MAIL) info@nishie-co.jp... 西江通信に関するご意見・ご感想などは左記の連絡先までお寄せください...

現場だより

工事名 : ポンガラウンナイ林道改良工事

施工場所 : 鹿追町

施工期間 : 令和5年3月2日～令和6年2月27日

発注者 : 北海道森林管理局
十勝西部森林管理署 東大雪支署

請負者 : 西江建設株式会社

請負金額 : 126,471,119円

進捗率 : 34% (6月末時点)

現場職員 : 太田伸也、丸山翔大、齊藤雄基



GENBADAAYORI

西江建設が手掛ける工事現場を徹底解剖！

リアルな現場の声をお届けします。

工事概要

本工事は、鹿追町上幌内にあるポンサラウンナイ林道の道路補修、既設橋梁の撤去、大型ボックスカルバートの布設、擁壁工を行う工事です。

ポンサラウンナイ林道には、主伐期を迎える木々が奥地まで植生しています。しかし、平成28年の台風災害により被災した2つの橋梁を含め、走行できなくなっている箇所が点在しています。この工事によって、伐採する際の運材車が走行できるようになるほか、林業の作業効率向上、水源かん養機能※1が強化されます。

本工事では、「Carbon Cure Concrete」(以下カーボンキュア)で造られた大型プレキャストボックスカルバートを取り入れました。カーボンキュアとは、コンクリートの製造時に液化CO₂を噴射してナノレベルの炭酸カルシウム鉱物を生成させ、CO₂とセメントの量を削減しながら同じコンクリート強度を引き出す技術です。この反応によりコンクリートの強度を約7%増加させ、1m³あたりに使用するセメント量を6%減らすことができます。

今回のボックスカルバートでは、セメント量を4,636kg減らすことができ、それにより排出されるCO₂を3,709kg削減し、221kg吸収することができました。これは、約281本の杉の木が1年間に吸収できるCO₂の量に相当します。(※1tのセメントを造るときに排出されるCO₂を800kgとして換算)

また、森林の中での工事となるので、生態系の保護、持続可能な森林経営の礎になれるよう、SDGsへの感心を高く持ちながら環境に配慮した現場施工を行うことを心がけています。

※1「大雨が降った際の洪水緩和」、「雨をいったん土壌に蓄え雨水の流出量を平準化する水資源貯留」、「おいしい水を作り出す水質浄化」といった森林の機能

現場代理人



OTA SHINYA

太田 伸也

大変に感じることも

山奥にある現場なので、電波が届かず業者の方や本社との連絡が思うように取れません。対策として、朝礼でその日に出入りする業者の予定を共有し、伝え漏れが無いよう1回の打ち合わせを綿密に行うことを全員で心掛けています。

また、現場に向かう途中で町営牧場の間を通るため、家畜を感染症から守る防疫対策として、入場ゲートで必ず車両の消毒をしなければいけません。通常は運転手が消毒作業を行うのですが、生コンクリートミキサー車やダンプトラックが多く出入りする際は、消毒作業の担当者をゲートに配置します。そうすることで、運転手が降車して消毒する時間を短縮し、効率よく資材運搬等が出来るよう工夫して取り組んでいます。

もっとも達成感を感じることも

着工前は、台風被害により走行できなくなった箇所があったり、橋梁が壊れてしまっている状態でした。

それを撤去し、更地になった場所に新たに床作りから初め、コンクリートを打ち、基礎を作り、大型のボックスカルバートを布設し、徐々に道路が出来上がっていく…。そうして現場が少しずつ形になっていく工程を見ていると、「ゼロからものづくりをしている」ことを改めて実感し、とてもやりがいを感じます。

仕事のこだわり

当初の見積通りの予算・人員・工程で進められるよう、日々、必要なものや作業内容に合わせた時間配分等を考えています。

そのためには、現場に配置されている技術職員や職長だけでなく、すべての作業員や業者の方との連携が重要になります。それぞれを交えた打ち合わせは綿密に行い、風通しの良い現場にするよう、心がけています。



台風の被害によって土台が壊れた橋梁



床作りの様子



ボックスカルバートを布設する様子

指導で心がけていること

指導のとき心がけていることは、口頭の指示だけではなくまずは見本を用意したり自分で実演して見せるようにすることです。その後、実際にやらせてみて体で覚えてもらい、さらに身につくよう、次は1人で同じことをやってもらうようにしています。



太田さん指導のもと、現場作業は主に入社4年目の丸山さんと一緒に、測量や仕事の流れなどを学んでいます。安全書類などの現場書類の作成も行っており、日々、成長していることを実感しています！
(入社1年目 工事課 齊藤さん)

休みの日の過ごし方

昭和59年入社

趣味の野球観戦をしたり（エスコンフィールド HOKKAIDO の新球場開幕戦にも参戦！）、お酒を飲んだりして過ごしています。



また、愛犬のチワックス（チワワとミニチュアダックスフンドのミックス犬）と一緒に遊んで癒されています。



西江建設について

八戸工業大学
工学部出身

西江建設は、平成3年から完全週休2日制を取り入れており、ワーク・ライフ・バランスを確保しやすい会社です。心身ともに十分な休息をとれるので、優れた技術を安定して供給することができます。

また、長期休暇の取得も推奨されています。仕事だけでなく、休暇の計画も立てやすく、居心地の良い会社です。会社説明会やインターンシップなども開催していますので、ぜひ一度、見学に来てください！

特技：アラームより先に目覚められること



工事課主任

十勝川治水100年トークリレー

十勝毎日新聞に掲載されました

令和5年、十勝川の治水事業が始まって100周年を迎えます。

帯広開発建設部と十勝毎日新聞社は、100周年の記念事業として「十勝川治水100年トークリレー」と題し、治水事業と係わりのある関係者の思いや将来に向けたメッセージを十勝毎日新聞の紙面に掲載しています。

6月28日（水）、第12回目となるトークリレーに、NPO法人十勝多自然ネットの理事長を務める当社代表取締役社長のメッセージが掲載されましたので、ご紹介します。



トークリレーのバックナンバーはこちらからご覧いただけます。

▶ 北海道開発局
帯広開発建設部
ホームページ



▶ 十勝毎日新聞
電子版
※閲覧には有料会員
登録が必要です



西江 靖幸

西江建設株式会社
代表取締役社長

NPO 法人十勝多自然ネット
理事長

十勝川治水事業100年の歴史は洪水との闘いであり、先人たちの苦勞は計り知れないものがあつたことは言うまでもありません。2016年の4連続台風や近年の温暖化による気候変動を受けて、北海道開発局では十勝川河川整備計画の改定作業が進められています。新たな計画と流域治水によってより安全度が高まることを期待しています。

1997年に河川法が改正され、治水、利水に環境が加えられたことにより、治水事業は生態系などの自然環境に配慮した多自然型工法が主流になりました。私事ですが、98年に「十勝多自然型工法研究ネットワーク」を十勝管内建設業者6社で設立し、2001年に「NPO法人十勝多自然ネット」へと改組し、この24年間に多くの活動をしてきました。

故太田昇先生が活動していた売買川のサケのふるさと公園にある、高さ約2メートルの落差工に魚道を設置したり、十勝川下流の幌岡で20ヘクタールの湿地を復元し生態系を回復させました。さらに札内川と帯広川の合流点にある親水公園で300メートルのバイパス水路を掘り、土砂を撤去して再び市民の憩いの場として復元。近年は、帯広近郊の5カ所ほどで「水辺の楽校」などを利用し、小学生と水質検査をしたり、水生生物をタモ網で採取して身近な小河川の大切な役割や生態系を理解してもらったりと楽しく活動しています。

河川というのは、一つ間違えば人の命に関わり、逆に人の豊かな生活になくてはならない大切な存在でもあります。治水事業とは地域住民の生命と財産を守る大変重要な社会資本整備であり、長年、川に関わることで、川から多くのことを学べたことは、私の人生の宝であり、誇りでもあります。

Eco Action!



十勝川河川清掃 & BBQ

4月22日(土)、十勝川河川敷において当社主催の河川清掃活動を行いました。

この活動は平成20年にスタートし、今年で15年目となります。当社から46名、協力企業の職員・十勝川イカダ下り実行委員会から31名、新十勝大橋町内会から11名、延べ88名が参加しました。

十勝大橋からすずらん大橋までの約2kmの区間を清掃し、布団や絨毯、洗濯機などの大型ゴミをはじめ、燃えるゴミ30袋、燃えないゴミ50袋(それぞれ45L)など、合計680kgのゴミを拾い集めました。さらに今年は、4年ぶりに清掃後の懇親BBQも開催することができました。

当社は、これからも地域の皆さんと協力しながらこの清掃活動を継続して参ります。

クリーンウォークとかち in 札内川

5月13日(土)、愛国大橋を中心とした河川敷において第23回クリーンウォークとかち in 札内川が開催されました。

この活動には延べ647名(42団体)が参加し、3コースに分かれ約1時間半にわたって河川敷のゴミを拾い集めました。当社からは12名(西江建設として8名、NPO法人十勝多自然ネット※1として3名、帯広二建会として1名)がボランティアとして参加し、草むらをかき分けながらゴミ拾いに汗を流しました。

※1 当社社長が理事長を務め当社職員も参加する特定非営利活動法人(Non Profit Organization)

初めての参加でしたが、参加者全員が和気あいあいとしていて、楽しく河川清掃が行えました。環境保全に携わりながら、多くの人と協力し合えたことが良い経験になったと感じています。(入社1年目 経理課 吉川さん)



花壇造成

【本社】

5月31日(水)、本社周辺の花壇造成を行いました。この活動は平成14年から地域美化を目的に取り組んでおり、今年で22回目となりました。新十勝大橋町内会の皆さん、北洋道路(株)、三和警備(有)と協力し、北1丁目線周辺(西2条~西5条の450m)の花壇に栽植しました。

長い期間、花壇を楽しんでもらえるよう手入れも欠かしません。植え付け後の追肥と、必要に応じて散水を行い、毎月末には本社の職員総出で草抜きをしています。抜いた雑草は米ぬか等を混ぜ込んで堆肥づくりに役立っています。植栽前の花壇に、この自家製堆肥を混ぜ込むことが綺麗な花壇づくりの秘訣です。



【札幌支店】

5月18日(木)、札幌支店周辺の緑地帯に花苗を植栽しました。これは地域美化のため平成21年から取り組んでいる活動です。今年度はマリーゴールドや百日草など色鮮やかな11種類の花を取り揃えました。今後も引き続き、水やりや草刈りなどメンテナンスを行い、地域の皆さんに楽しんでいただける環境づくりをして参ります。



社員親睦イベント

西江建設では、社員親睦のため毎年4月にボウリング大会、5月にパークゴルフ大会を開催しています。「仕事も遊びも本気」がモットー！みんなでワイワイ身体を動かして、仕事の疲れもリフレッシュできました。

パークゴルフ大会では、なんとホールインワン賞が5名も輩出される好成績となりました。感染防止対策として開催できていなかったBBQも、今年は4年ぶりに再開！昨年はBBQができないことに落ち込んでいた職員もいましたが、今年はとても嬉しそうな様子。お腹も心も満たされた1日となりました。

ボウリング大会



パークゴルフ大会 & BBQ

就活情報

夏期インターンシップ、参加者募集中！

令和5年8月下旬、**夏期インターンシップ～じっくり体験型5DAYS～**を実施予定！会社説明会をはじめ、現場見学会、施工管理実習、先輩社員との懇談会など盛りだくさん内容となっておりますので、当社の仕事を5日間かけてじっくりと体験することができます。1人で不安という方は、友人同士での参加も大歓迎！ぜひお気軽にお問い合わせください。

スケジュール

- ◆1日目◆
-実習概要：会社案内、業務内容の概説、受注～完成までのプロセス、土木技術者の職務について
- ◆2日目◆
-実習概要：現場見学
- ◆3日目～4日目◆
-実習概要：施工中の現場において、施工管理・品質管理業務の実習、工程打合せ会議に参加
- ◆5日目◆
-実習概要：管理書類等の作成実習、実習報告書の作成、社員との懇談会

5つの特長

- 1 1年生から参加できます！
- 2 交通費（実費）を支給します！
- 3 日当7,000円を支給します！
- 4 必要に応じてホテルを手配します！（朝食・夕食付）
- 5 作業服など必要なものはすべて当社で用意します！

先輩の声

若手社員の多くは入社前にインターンシップに参加しています。現在、現場で活躍しながらインターンシップ生の指導にもあたっている先輩方の様子を紹介します！

4年前
令和3年入社
春井さん

今では逆にドローンの操作方法を高校生にレクチャーしています！

現在

3年前
令和3年入社
齋藤(左)さん

施工中の現場でどんな工事を大学生に説明しています！

現在

2年前
令和3年入社
齋藤(右)さん

3Dレーザースキャナーの操作方法を高校生にレクチャーしています！

現在

高校生の頃インターンシップに参加しました。そこで先輩方に優しくしてもらったことや、現場を見学してそのスケールの大きさに感動したのがきっかけで、入社を決めました！

インターンシップを活用し自分の目で見て決めるのが一番です。「百聞は一見に如かず！」ぜひ、行動して自分にとって良い会社を見つけてください。お待ちしております！

5日間で全ての業務を把握することはできませんが、社風や現場の様子は十分に体感できます。職場の雰囲気や確かめて、じっくりくる場所が自分にとってきっと良い会社だと思います。

受賞Report!

優秀工事等表彰

令和5年6月12日(月)、NEXCO 東日本北海道支社の優秀工事等表彰式が執り行われました。

当社が令和2～3年度に施工した「道東自動車道 新得清水地区附帯工事」<現場代理人 妹尾慎一郎、現場職員 小野田一志、水上陽出明、梅本直成>において、接触事故防止対策として、重機と作業員双方に音で知らせる警報補助装置を取りつけ積極的に安全対策に取り組み、さらに点在する工事箇所・工種を実施するにあたり、河川近接施工箇所においては環境被害防止対策としてオイルガード一体型タンクを設置するなどして、工期内に無事故・無災害で工事を完成させました。これらの施工により、安全管理が特に優れていた工事と認められ、安全管理優秀工事(支社長表彰)として表彰されました。

今後も引き続き高品質な施工を続け、社員一丸となって取り組んで参ります。



西江通信
令和3年7月発行「春号」Vol.8に現場日より掲載!

北海道建設労働災害防止安全衛生表彰

令和5年6月23日(金)、令和5年度北海道建設業労働災害防止協会北海道支部安全衛生表彰式が執り行われました。

当社が令和4年度に施工した「北海道横断自動車道陸別町小利別南改良工事」<現場代理人 水上陽出明>において、労働災害防止活動を推進したとして優良賞を受賞しました。



西江通信
令和4年9月発行「夏号」Vol.13に現場日より掲載!

PLUS NEWS!

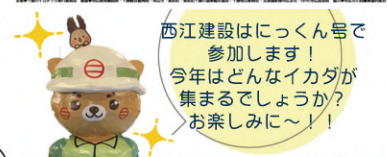
令和5年度賃上げについて

令和5年度の賃上げについて、初任給の大幅引き上げによる若年層の賃上げ率が全体を押し上げ、全体では定期昇給とベースアップを合わせて、対前年比平均4.88%増、40歳以上でも対前年比平均2.49%増となり、国から中小企業に要請されている1.5%以上を大幅にクリアしています。

また令和4年度利益の一部還元を目的に、特別賞与として、継続雇用者全員(嘱託・兼務役員を除く)に平均2.42か月分を支給しました。

十勝川イカダ下り 参加者募集中!

7月16日(日)、当社の経理課兼業務課 谷本課長が実行委員として参加している十勝川イカダ下りが開催されます。宝探しや熱気球の体験搭乗、ジンギスカンにモール露天風呂など楽しいイベント盛りだくさん!当日、手ぶらで参加できる貸しイカダもあります。家族・友人・会社の仲間たちと一緒に、雄大な十勝川で夏を満喫しましょう!



十勝川イカダ下り

スケジュール

- 7月16日(日) 第51回十勝川イカダ下り
- 7月17日(月) 「海の日」のため休業
- 8月11日(金) | 夏季休業(6連休)
- 8月16日(水)
- 8月下旬頃 【5DAYSインターンシップ】実施予定
- 9月18日(月) 「敬老の日」のため休業
- 9月29日(金) 次回「秋号」発行予定